

2026年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

| | 関係者 | 項目 | 2025年度末の状況 | 2026年度目標 | 2026年度目標：具体的内容 | 2026年度進捗状況 | 2026年度評価 |
|-----------------------|--|---|--|---|---|------------|----------|
| 業務量の調整 | 看護師 | 業務量に見合った支援体制の整備 | タイムスケジュールの可視化とスケジュール活用による看護提供方式の標準化 業務量把握ツール活用による日々の応援看護師配置調整 勤務表作成システムの活用 | 病棟看護のエリア制による協働、看護補助者ともスケジュールの共有や調整を行う | 看護補助者との協働による身体拘束の低減 転倒転落の低減 ナースコール対応時間の短縮 | | |
| | 看護師 | DX推進と活用による時間外労働減少への取り組み | 入院前生活情報入力作業の時間短縮に着手し離型を作成中 薬剤部に循環器内科の臨時処方をも早めるよう協力を依頼 | 電子カルテ連携情報ツール活用 カクテルAIの導入と活用 文字おこしツール活用 YYシステム、Teams活用 動画作成ツール活用 | 看護サマリ作成の時間短縮 情報収集時間の短縮 会議議事録作成の時間短縮 患者教育ツールの作成 スタッフ教育ツールの作成 | | |
| 看護職員と他職種との業務分担 | 委託業者 | ベッドメイキング 退院後の病室整備 | 委託業者による定期シーツ交換支援（祝日稼働日含む） 退院後清掃 | 継続 | 継続 | | |
| | 委託業者 | 死後の処置支援 | 委託業者による支援 | 継続 | 継続 | | |
| | 委託業者 | 着物・タオル・物品配布 | 委託業者による実施 | 継続 | 継続 | | |
| | ロジスティクス部 搬送サービス課員 | 検体・物品・薬剤搬送 休日・夜間の搬送（薬剤、検体等） | 搬送対象物拡大 搬送サービス課員による実施 地下倉庫の全物品を搬送サービス課にて搬入 テープやディスプレイの作成と補充 夜間搬送のラウンド G-ICU、救急センターの平日夜間・土日のロボットによる搬送 | ロボットによる検体搬送（24時間365日） | ロボットによる検体搬送（24時間365日）：救急センター（OP室、集中部門） | | |
| | 購買部 | 物品補充・点検 | 医療材料の補充、定数管理 | 継続 | 継続 | | |
| | 薬剤師 | 病棟薬剤師配置 注射薬調査委業務委譲 | 病棟薬剤師配置、持参薬の整理、退院時薬剤指導 注射薬のピッキング、中心静脈栄養・化学療法のみキシング | 継続 | 継続 | | |
| | 臨床検査技師 | 病棟採血業務 | 臨床検査技師による実施 | 継続 | 継続 | | |
| | 臨床工学技師 | 医療機器の作動確認、点検整備 | 人工呼吸器の作動確認を看護師と協働して実施 | 継続 | 継続 | | |
| | リハビリ療法士 | リハビリの送迎時の移送 | リハビリ時の移送をPT、OTが実施 | 継続 | 継続 | | |
| 事務職員 | 看護業務の密集する時間帯の患者支援 | 院内副業の開始 | 支援部署数の拡大 支援時間・内容の拡大 | 夕方の見守り支援、食事時間見守り・下膳、トイレ誘導、洗面支援など | | | |
| 看護補助者の配置 | 看護アシスタント | ベッドメイキング 入院ベッド・術後ベッドの準備 洗濯および買い物 配膳、下膳 | 看護アシスタントによる祝日の定期シーツ交換応援体制 看護アシスタントによる緊急入院・術後ベッドの準備 洗濯および買い物 | 継続 | 継続 | | |
| | 看護アシスタント 病棟サポート係 | 説明および案内 主として事務的業務を行う 看護補助者の配置 物品補充 | 入院時の案内と説明、荷物整理の実施 受付業務 入院料金説明配布 病棟サポート係にて他施設への書類作成と郵送を実施 病棟サポート係による物品補充全病棟支援 物品請求代行申請 | 継続 | 継続 | | |
| | 看護アシスタント 介護福祉士 | 清拭、洗髪等 せん妄・認知症患者の見守り 院内デイサービス、個別支援 | 清潔ケア、入浴介助 2026年度技能実習生2期生3名採用 | 7月より技能実習生2期生3名入職 | 技術習得に向けた教育計画立案と育成 | | |
| | 看護アシスタント 介護福祉士 | 患者の見守り 清潔ケア 食事介助 ナースコールの対応 | 認知症ケアについての研修 見守り手順作成、ナースコール対応手順作成と研修実施 | 継続 | 継続 | | |
| 多様な勤務形態の導入 | 看護師 | 多様な勤務形態導入 | パート、夕方パート 再雇用 12時間・8時間、夜勤専従などの選択可能 時短・時差勤務者 | 継続 | 継続 | | |
| 妊娠・子育て・介護中の看護職員に対する配慮 | 看護部 人事部 | 院内保育所 | 就学まで受け入れ可能 病児保育担当看護師1名採用 最大4名受け入れの実績 | 継続 | 継続 | | |
| | | 夜勤減免制度 | 小学校就学前の子どもがいる場合利用可能 | 継続 | 継続 | | |
| | | 休日勤務の制限 | 妊娠中及び産後1年は申し出により免除 | 継続 | 継続 | | |
| | | 半日・時間単位休暇制度 | 半日、2時間休暇制度 | 継続 | 継続 | | |
| | | 所定労働時間の短縮 | 9歳未満の子どもがいる場合短時間勤務制度を利用可能 | 継続 | 継続 | | |
| | | 他部署等への配置転換 | 産休・育休復帰後の配属部署について希望調査実施 | 継続 | 継続 | | |
| | | 夜間保育の実施 | 院内保育所で24時間保育実施 | 継続 | 継続 | | |
| 夜勤負担の軽減 | 特定行為看護師の夜間配置 | 特定行為実践看護師 | 院内チームRRS 人工呼吸器管理上の相談 | 継続 | 継続 | | |
| | 看護師 | 夜間入院の集約（内科系） | 病棟再編と傾斜配置 | 一般病棟の夜間勤務に対する負担感の軽減 夜間入院・日中の退室の円滑なベッドコントロールの仕組み構築 | 17時以降の内科系夜間入院を集約する（看護師の夜間勤務者の増員） | | |
| | 看護補助者の夜間配置 | 介護福祉士 | 準夜帯3名/日の配置。 | 継続 | 継続 | | |
| | | 看護アシスタント | 準夜帯7名/日の配置 一部部署で2名早出勤勤務 技能実習生1期生の準夜勤務開始 | 派遣スタッフ1名 17:00～22:00採用 Wジョブの検討 | 循環器内科病棟に派遣スタッフを配属 ケア度の高い部署への看護補助者の傾斜配置 介護福祉士・看護アシスタントによるWジョブ 検討 | | |
| | | 救命士 | 夜勤勤務 救急センターでの処置支援業務 採血・ルート確保、案内、問診、移送、ドクターカーの同乗 | 継続 | 継続 | | |
| 保育士 | 保育士7名に増員 小児・周産期領域の夕方支援 小児科、NICUで夕方の支援（授乳、あやし、オムツ交換） | 継続 | 継続 | | | | |